

## 蓮華温泉 (糸魚川市)

■環境：高山、湖沼  
 ■対象：一般  
 ■期間：7月1日～  
 10月下旬

上杉謙信公が発見したと伝えられる蓮華温泉は白馬岳の中腹にあり、北アルプスを眺め野鳥のコーラスを聞きながら温泉が楽しめる。

## &lt;白池に翼を休める水鳥たち&gt;

糸魚川市街を後に、暴れ川として名をはせた「姫川」沿いに上流に向かって車を走らせること40分、姫川温泉で知られる平岩に着く。そこから更に8 kmほど山中に入ると「白池」と呼ばれる大きな池にたどり着く。人の手が入らぬ自然そのままに、静かなたたずまいを見せている。この池に、繁殖の可能性もあるカイツブリやカルガモのほか、旅の途中でしばし翼を休める水鳥たちがいる。オシドリ、スズガモ、ホシハジロ等が観察される。

## &lt;オオシラビソの樹林でさえずる小鳥&gt;

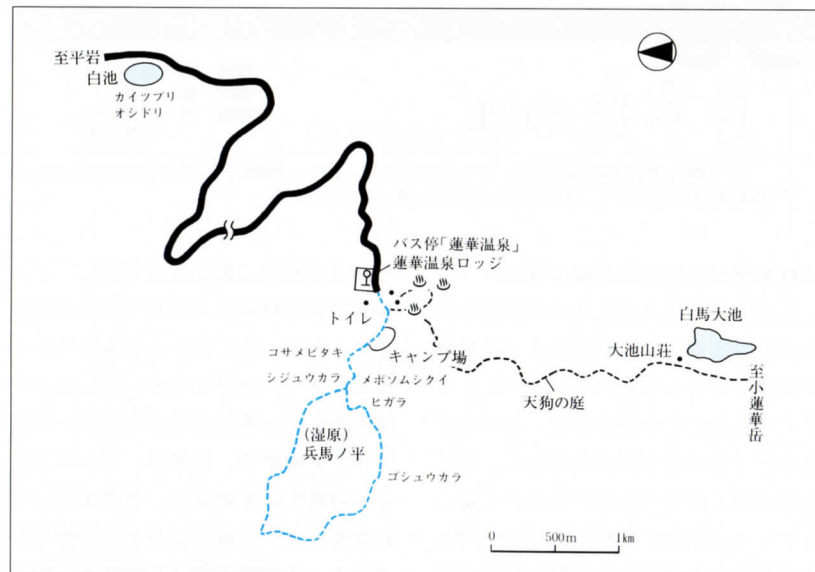
蓮華温泉のロッジから徒歩10分ほどの所にキャンプ場がある。100帳ほどのテントが張れる広場の周辺は、オオシラビソ、コメツガ、ブナの群落が生息し、足元にはチシマザサの群落が広がる。



キャンプ場入り口

この樹林の中に自然の遊歩道も整備されていて探鳥コースにはもってこいである。

林の中には、枝から枝へ忙しく動き回るシジュウカラ、ヒガラ、コガラ等カラ類、木の幹にへばりつくように止まるキバシリ、虫を探してぐるぐる回るコゲラ、こずえでさえずるメボソムシクイの「ゼントリ、ゼントリ」の鳴き声も楽しい。こずえに止まり空中に飛び出せば昆虫を捕食するコサメビタキ。この樹林は多くの野鳥に住みかと食物を供給している。ゴジュウカラがすぐ目の前の木の幹を逆さまに降り



てくるし、小鳥たちに脅威を与えるハシブトガラスやカケスもキャンプ場に気に入っているようである。

## &lt;白馬大池のライチョウとイワヒバリ&gt;

蓮華温泉は北アルプスの登山基地でもあり、天狗の庭、白馬大池を経て、小蓮華山や白馬岳に通じる。白馬大池から小蓮華山に向かう雷鳥坂では、その名の示す通り、子連れのライチョウに出会うこともある。また山小屋の周辺では、人を怖れることを知らないかのようにイワヒバリが登山者の足元に寄ってくる。

山頂からの眺めのすばらしさは、言うまでもないが、白池から蓮華温泉に至る道中もまた眺望がすばらしく、一

見の価値がある。

(鷲沢澄雄)

## メモ

**交通** JR平岩駅下車／バス(頸城バス)糸魚川駅前発「蓮華温泉」行き110分。

ただしバスの運行は7月1日～10月中旬。

☑ 温泉ロッジが1軒あり、近くに50台ほど駐車できる。

トイレは駐車場にもあるが、徒歩10分ほどの距離にあるキャンプ場にも二つある。

組織的な探鳥会は行っていない。近くに白馬大池、天狗の庭、自然歩道等が整備され、ハイキングにも最適。

蓮華温泉ロッジ ☎0255-52-5000